

買い物カゴ、カート回収運搬支援ロボット

イトーヨーカドーアリオ橋本店では、館内各所の買い物カゴ、買い物カートの滞留量の確認作業、運搬作業が煩雑であり、広大な館内を巡回するため作業の身体的負担が大きいことが課題になっている。そこで従業員に追従走行し、買い物カゴや買い物カートを搬送するロボットと滞留量検知システムによって、搬送・巡回の負担を軽減する。

ロボット名

サウザー（ジャイアント、ミニ）、スマートマット

実証時期

2022/11/21（月） - 2022/12/22（木）（予定）

実証フロア

イトーヨーカドーアリオ橋本店 食品売場およびアリオ橋本館内

課題

- 広い館内で買物カゴやカートを常に人が巡回して回収しており、従業員の身体に負担がかかっている。
- 回収作業の効率化と、負担軽減が求められている。

従業員に追従し、買い物カゴやカートを搬送することで、搬送の負担を軽減する。また、滞留するカゴの重さを測るスマートマットを活用することで、カゴの回収・補充のタイミングを最適化する。

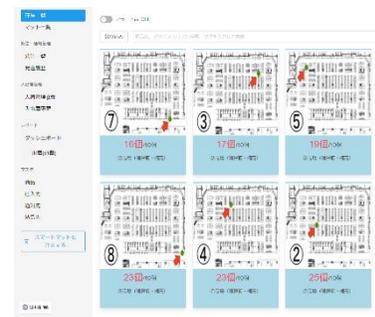
実証内容



従来は人が巡回し、カゴやカートを運搬



人とロボットで運搬することで業務を効率化



カゴの溜まり状況を可視化し回収タイミングを把握

期待される効果

搬送作業の効率化によって、次の効果を期待

- 身体への負担の軽減
- 従業員同士の接触機会の削減に伴う新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減

